

令和2年度 子どもさわやか賞 受賞団体の活動紹介



豊中市立第十四中学校 (豊中市)

社会と関わりながら、自立して生き抜く力のある子どもの育成と、生徒ひとりひとりがお互いに支え認め合える思いやりのあるあたたかい学校づくりと地域共生活動を実践している。具体的な取り組みとしては、野畑地区敬老の集い事業への運営協力と出演参加や自主防災会の組織の一員として地区防災予防活動を行っている。また、北緑丘地区の避難行動要支援者安否確認訓練へ自主的に参加している。

金光大阪中学校高等学校 吹奏楽部 (高槻市)

さくらバザー (大阪水上隣保館主催)、しまもと音楽フェスティバル、国際ソロプチミスト高槻チャリティコンサート、聖ヨハネ学園記念行事、ひとり暮らし老人慰安の会、ホワイトコンサート、東上牧ふれあい祭り等で演奏活動を行った。地域における社会福祉事業や行事等に積極的に参加して演奏を行い、地域の関係者から感謝されている。

茨木市立北中学校吹奏楽部 (茨木市)

生徒たちが中心となって、地域の祭りや敬老会で毎年演奏を続けている。聴く人の共感が得られる選曲で高齢者から幼児まで楽しまれており、音楽を聴く人に感動を与えている。

箕面市立第六中学校吹奏楽部 (箕面市)

吹奏楽部の合言葉は「心は一つ」であり、「地域に愛されるバンド」を目指すことを目標としている。校区の敬老会、地域運動会、夏祭り、地域のコミセン祭り、東生涯学習センターの文化発表会などに参加しており、演奏を通じて地域の方々と交流を深めている。行事にふさわしい選曲を行い、生徒たちが場面に応じてメッセージを伝え、歌ったり踊ったりして行事を盛り上げ、元気を与えている。

前原 涼馨 (枚方市)

校区主催の区民体育商品係を務めていたり、集会場の清掃も母と一緒に手伝ってくれたり地域活動に積極的であり、地域の中では、誰もが認める存在である。

富田林市立藤陽中学校 (オリーブ事業) (富田林市)

「よりよい学校教育が、よりよい地域づくりにつながる」をスローガンに、地域に貢献できる中学生を育成しようと、生徒会や学年・クラブ単位や有志で地域のイベントに参加、福祉施設と交流するなど地域の中で活動している。裏方として高齢者や障がい者施設での交流会の開催準備や後片付けを行ったり、「校区交流会議」に参加して意見を述べるなどの役割も担っている。生徒自身も自ら考えて動く主体性が育まれており、地域の中では、「地域の将来を託せる頼もしい中学生」という声があがっている。



三田市小学校 なかよし学級(河内長野市)

養護老人ホームふれあいの丘になかよし学級(支援学級)の児童が訪問し歌や演奏を披露し、交流している。教職員の企画に児童のアイデアも加わり、主体的な取り組みとなっている。

東大阪市立布施中学校(東大阪市)

毎年3月11日に近い土曜日に布施駅前で吹奏楽部によるチャリティコンサートを開催。また、生徒会が募金活動を行い、2017年と2018年は日本赤十字社、2019年は東日本大震災で保護者をなくした遺児を支える「毎日希望奨学金」に寄付を行っている。東日本大震災の風化防止と支援継続を呼びかけており、今後も継続して行う予定である。

岸和田市立久米田中学校(岸和田市)

平成15年から生徒会、部活動を中心に地域の住民や団体と久米田池の清掃を行う「久米田池クリーンアップ作戦」に参加している。「世界かんがい施設遺産」に登録されている久米田池を美しくしようとする意識を持つとともに、毎年参加する生徒も多く継続した取り組みとなっている。

東港町若葉子ども会(泉大津市)

東港町が平成28年4月より、地域の交流、特にひとり暮らしの方々の絆と安全を深めるため、毎週土曜日午前中の東港町モーニングサロンを立ち上げた。スタッフとして、東港町若葉子ども会の親子で参加している。子どもやお母さん方の参加で会場が和み、明るく話ができる雰囲気になっており、お父さんも参加され微笑ましい様子が見られる。また、子ども会が開催する行事に地域住民が参加することもあり、地域内での世代間交流にもつながっている。

和泉市立北松尾小学校3年生(和泉市)

地域と交流を図るとともに自分の住んでいる地域を緑豊かなまちにすることを目的に、毎年3年生が小さい花の苗を育て、花が咲いたら地域住民に配る活動を行っている。地域が企画したイベントとリンクして行われ、子ども自身が積極的に地域に関わるきっかけとなっている。

大阪水上隣保館 乳児院(島本町)

近隣の高齢者施設を年3回訪れ、乳児とのふれあいの中で、入居されている方々の心のいやしになるよう活動している。乳児との交流により、入居者のいきいきとした姿や笑顔が見られる。

